

夢の実現に向けて

校長 山本里香

はじめに、能登半島地震でお亡くなりになられた方々のご冥福と、被災された皆様が一日も早く平穏な生活に戻れますことを祈念いたします。今年の冬も大雪や暴風雪、交通網の乱れなどが見られる北海道ですが、この寒さの中、災害に遭われた方々の辛さを思うと、日常生活に感謝の気持ちでいっぱいになります。一日一日を大切に過ごしていきたいと改めて感じる新年のスタートです。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、17日、都小学校は、15名が全員揃って、3学期をスタートしました。何よりもうれしい出来事です。休み中の生活を支えてくださったご家庭に感謝いたします。



冬休み中に届いた大谷翔平選手からのグローブを紹介しました。世界の大谷選手が日本のすべての小学校にグローブを届けるというニュースを聞いたときは、驚かされましたが、現実となりました。

大谷選手からのメッセージには、このグローブを通して、子供たちに野球への興味を持ってほしいことと次の世代に夢を与え、勇気づけるシンボルとなってほしいとの思いがあることが伝わってきました。そこには、自身が充実した人生を歩む機会を与えてくれた野球に対する感謝の気持ちが現れていると感じます。

自分の願いや思いを実現していく大谷選手の姿を通して、子供たちには、学年の締めくくりの3学期は、どんな小さなことでも、自分の状況を把握し、目指す姿に向かって具体的な取組を進めてほしいと伝えました。早速、グローブを使ってみた子供たちからは、「キャッチするのが楽しかった。」「野球はやったことがなかったけれど、こんなに楽しいということがわかった。」との感想が聞かれました。今は、きれいな真新しいグローブですが、子供たちがいっぱい楽しんで、いい具合に汚れていくのが楽しみです。

話は変わりますが、先日、「校長先生、大谷のグローブ届きましたか?」と、地域の方から声を掛けられました。「ぜひ、見にいらしてください。」とお伝えしました。これは、子供たちが使うものですが、使っていない時間もありますので、学校に立ち寄って、手にとっていただければと思います。そして、次の世代に夢を与え、勇気づけるために、私たち大人にできることはなにかを語らえたらうれしいです。

先日、6年生を対象に、赤井川中学校での新入生体験入学が実施されました。説明の中で小学校と中学校は同じ思いで教育活動を進めているなど感じるものがたくさんありました。「自分に必要なだけ毎日勉強する。」「なぜかと思ったら聞いたり、調べたりする。」「自分はどしたのかをしっかりと伝える。」等々。赤井川村の教育で目指している「人間愛にあふれ、郷土に誇りを抱き、自己の夢や希望に向かって歩む15歳」の姿に向かって、小中の連携の重要性を再認識しました。子供たちが夢を持ち、それを実現していくために、必要な力をどのように培っていくのか、赤井川小学校、赤井川中学校との一層の連携を進めてまいります。

弱点克服学習会

冬休み期間中の12月25日(月)~27日(水)、村の教育委員会主催の学習会が健康支援センターで行われました。本校から1・2年4名、3・4年4名、5・6年1名と講師として3名の先生方が参加しました。参加者は、いただいたドリルなどに一生懸命取り組みました。「分からないところをすぐ教えてもらってうれしかった。」などの声が聞かれました。担任の先生以外の方に教えていただいたり、声をかけていただくことも、子どもたちの大きな励みになっていたようです。



3学期が始まりました!

1月17日(水)、3学期が始まりました。始業式では全校児童15名が、ひとりひとり冬休みの思い出と3学期にがんばることを発表しました。冬休みの思い出では、誕生会を行ったことや旅行したこと、スキーをしたことなど、楽しさや頑張りが伝わってきました。3学期頑張ることで、国語や算数の勉強や家庭学習の充実、学校のリーダーとして行動することなど、決意が感じられました。また、一人一人が自分の思いや考えを聞いている人に伝えるように、しっかりと発表していました。



校長先生からは、「3学期、何がどれだけできているか振り返り、よりよくなってほしい。そのために、先生や友達と話し合ってほしい。」とお話がありました。

この3学期、充実した毎日過ごし、次のステージにステップアップしてほしいと思います。

冬休み作品展

3学期が始まり、1月31日までをめぐり、2階のワークスペースに冬休みに取り組んだ工作や自由研究を展示しています。子どもたち一人一人の個性が表れ、鑑賞してとても楽しくなります。



大谷グローブ都小へ

1月15日(月)に大谷グローブが本校に届き、始業式で子どもたちに披露しました。大リーグの大谷選手から全国の小学校に寄贈されたもので、右利き用二つと左利き用一つが送られました。今後このグローブは、体育の時間や休み時間などで活用されます。



12月実施・前期学校評価(保護者アンケート)の結果

A: そう思う B: ちょっとそう思う C: あまり思わない D: 全く思わない

13件の回答

1	学校は、道徳の時間を通して、多面的に考える活動をさせている。 4&3~85% 2&1~15%
2	学校は、集団生活の中で仲間から認められるなど、自分の良さを感じるよう「きらりん」の取組を進めている。 4&3~100% 2&1~0%
3	学校は、児童の読書への関心が高まるよう、朝読書や読み聞かせ等の取組を進めている。 4&3~92% 2&1~8%
4	学校は、いじめや問題行動の未然防止、早期発見、早期対応を進めている。 4&3~100% 2&1~0%
5	学校は、誰もが安心して学習に臨めるよう、「都小5つのやくそく」を意識した授業を進めている。 4&3~92% 2&1~8%
6	学校は、見通しを持った学習展開(課題、問題、まとめ、ふりかえりなど)を進めている。 4&3~100% 2&1~0%
7	学校は、児童が進んで家庭学習に取り組むため、課題意識をもたせた授業を進めている。 4&3~85% 2&1~15%
8	学校は、端末を効果的に活用した学習を進めている。 4&3~100% 2&1~0%
9	学校は、児童が感染症に対して正しい知識を持って予防ができるよう、保健指導を進めている。 4&3~92% 2&1~8%
10	学校は、児童に生活習慣を定着させるため、家庭と連携した取組を進めている。 4&3~100% 2&1~0%
11	学校は、児童の体力づくりや運動に親しむ態度を育てるために、一輪車・縄跳活動や「いだてん」の取組を進めている。 4&3~100% 2&1~0%
12	学校は、児童が災害や危険から自分の命を守るための教育活動を行っている。 4&3~100% 2&1~0%
13	学校は、相談しやすい雰囲気であり、相談事等に迅速に対応している。 4&3~100% 2&1~0%

*保護者が知っている学校の取組

【徳育推進】	きらりん~92.3%
いじめアンケート~100%	児童教育相談~53.8%
保護者個人懇談~100%	教職員による定期的な安全点検~46.2%
避難訓練~100%	一日防災教室~92.3%
教職員による読み聞かせ~100%	保護者による読み聞かせ~100%
読書週間~100.0%	【知育推進】
赤井川小学校と同じ授業の流れ~84.6%	学年に応じた家庭学習~100%
宿題量の統一~76.9%	自学ノート交流~100%
授業でのタブレット活用~100%	遠隔授業~84.6%
道徳や学活での情報モラル教育~53.8%	家でタブレットを使う時のルールと3つの約束~92.3%
【健康な体づくりの推進】	いだてん~100%
いだてん週間~92.3%	一輪車なわとび検定~100%
児童の発達段階に応じた保健指導~84.6%	児童の健康維持に向けた食育指導~84.6%
毎月の保健・給食目標のお知らせ~84.6%	保健だよりの発行~100%

学校評価(保護者アンケート)へのご協力ありがとうございました。集計のみを掲載しましたが、この結果を受け、子どもたちのより良い成長のために課題を明確にし、改善に努めてまいります。

令和5年度 都小カレンダー

曜日					木	金	土
月日					1	2	3
予定					B日課 研修日	フッ化物洗口 5時間授業 義務教育指導監訪問 読み聞かせ	
バス							
曜日	日	月	火	水	木	金	土
月日	4	5	6	7	8	9	10
予定		つくし朝会 食育指導	ALT 参観日 5時間授業	フッ化物洗口 スキー学習~ 午後	B日課 職員会議	フッ化物洗口 キャンドル作り	シーニック ナイト
バス							
曜日	日	月	火	水	木	金	土
月日	11	12	13	14	15	16	17
予定	建国記念の 日	振替休日	スキー学習 ~1日	フッ化物洗口 クラブ活動 ALT	B日課 研修日	フッ化物洗口 ALT	チャレン ジスキーII ①
バス							
曜日	日	月	火	水	木	金	土
月日	18	19	20	21	22	23	24
予定	チャレンジ スキーII②		ALT	フッ化物洗口 委員会活動	B日課 職員会議	天皇誕生日	
バス							
曜日	日	月	火	水	木		
月日	25	26	27	28	29		
予定			ALT	フッ化物洗口 委員会活動	B日課		
バス							
下校バス発車時刻							

- 【生活目標】
○寒さに負けない丈夫な体をつくろう
- 【保健目標】
○心の健康について考えよう
- 【給食目標】
○時間を考えて食べよう



都小空中撮影